

会議録

1 会議名

令和7年度第9回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項 (公開)

- ・「上越市柿崎体育館の廃止について」の答申に対する回答について
- ・「上下浜小学校及び下黒川小学校の廃止について」の答申に対する回答について

(2) 協議事項 (公開)

- ・自主的審議事項の取組の有無について

(3) 自主的な審議 (公開)

- ・柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について

(4) その他 (公開)

3 開催日時

令和7年12月16日（火）午後6時30分から午後7時15分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・委員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員
坂木委員、佐藤（達）委員、佐藤（昌）委員、佐藤（ま）委員
滝澤委員、山川委員
- ・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、片岡次長
荻谷産業グループ長、石川市民生活・福祉グループ長

岩片教育・文化グループ長、長井地域振興班長、熊木副主幹

8 発言の内容（要旨）

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に佐藤（達）委員を指名。
- ・次第4の報告事項に入る。報告事項(1)「上越市柿崎体育館の廃止について」の答申に対する回答について事務局から報告をお願いする。

【長井班長】

(資料1を読み上げる)

【吉井会長】

- ・次に「上下浜小学校及び下黒川小学校の廃止について」の答申に対する回答について事務局から報告をお願いする。

【長井班長】

(資料2を読み上げる)

【吉井会長】

- ・市からの回答について、意見はないか。

(意見なし)

- ・協議事項に移る。(1)自主的審議事項の取組の有無について、前回の地域協議会で現在、三つの自主的審議事項に取り組んでいる。四つ目をどうするかという話をした。これについて、小出委員から意見があると思うが、説明をお願いする。

【小出委員】

- ・前回の地域協議会で話したとおり、子育て世代の人と懇談会を実施した。また、

保育園の統合に対する要望については市でもアンケートを行った。こうした意見を鑑みて、子どもたちの遊び場や居場所の整備については、地域協議会としても取り上げる必要があると感じている。市長の公約にあった 13 区内への子どもセンターの整備については、先ほど会長からも話があったが、現在市議会でもかなり質問が出て討議されて行くことかと思う。この状況を見て、今後の市長、議会、行政の動きに我々としてもアンテナを張りながら、急ぐこともなく、来年度に一つ作るということが言われているのであれば、遅れるということもないように、ほかの三つの委員会の活動状況を見ながら、進め方を検討していきたいと考えている。

【吉井会長】

- ・小出委員から遅れることなく、全体のスケジュールを見ながら進めて行きたいという意見があった。ほかの委員でこの自主的審議事項について、今後どうしたら良いか意見があるか。石田委員いかがか。

【石田委員】

- ・今ほど小出委員や会長から話があったとおり、今市議会で揉んでいただいているので、それを注視して、地域協議会として不平等等がないように進めていけば良いのではないか。

【吉井会長】

- ・山川委員、いかがか。自主的審議事項は子どもセンターだけでなく、今後我々は任期が 2 年残っているので、自主的審議事項としてこういうものを上げたらどうかという意見があればお願いする。

【山川委員】

- ・今、小出委員から話があったとおり、地域にとって子どもをどう育てていくか地域の中で子育てを考えることは大切であり、考えていかなければならないと思っている。特に子どもセンターは私自身もどういうものかわからないので、私たちも学びながら、市議会でも出ているということなので、勉強しながら考えていくべきだと思う。

【吉井会長】

- ・ほかの委員からいかがか。

【佐藤（ま）委員】

- ・もちろん、子育てひろば、子育てセンターは子どもたちにとって必要なものであるとは思うが、今話を聞いて「次、何かありますか。」という問い合わせだったが、「次、何かありますか。次、何かありますか。」という捉えで良いのか。この地域協議会として、また柿崎区のあるべき姿というかグランドデザインというか私たちが目指す柿崎区の望ましい姿が何なのかというのが、皆さんにあるか。私たちの共通認識としてあるか。まず、私たちはこの柿崎区をどういう姿にしたいのかという共通認識があって、その下に何が必要なのかというものがあると思うが、「では、次は、次は。」と。今三つあって、任期があと2年あり、あと四つ目、五つ目として行くべきなのかということが1点目である。

【吉井会長】

- ・今の自主的審議事項を決める前に、この地域協議会でグランドデザインをどうするかという話をした。それは、最初にしてあって、米山をどうするかということと、子どもたちをどうするかということ、地域の産業をどうするかということを三つの柱にして進めましょうという話をしていると思う。その中で米山薬師を守る会、スپ×まちプロジェクト、それから柿崎山岳会が解散した後、どうするかというところからネットワーク柿崎が出てきて、今三つの自主的審議事項をスタートしているという認識で皆さんにおられるから今の自主的審議事項を審議していると私は捉えている。したがって「ありますか。」と言われれば、ある。

【佐藤（ま）委員】

- ・そのことは、私もわかっている。私は今、米山薬師を守る会の一員として参加しているが、まだ道半ばでやるべきことがたくさんある。これからどうしようと、新しい団体ができそうだというところまでしか、まだ来ていない中で、できたから丸投げで良いのかとか、まだやることがたくさんある。その中で私自身としては、それにもう少し力を注ぎたいという想いでいる。もう一つは、三つの委員会がもう少しお互い連携しながら一つの方向を向くような形づくりもこれから必要なのではないか。手を括げることも大事だが、まず今あるものを確実に行くのも必要ではないかと感じている。

【吉井会長】

- ・今、三つのプロジェクトの話が出たので、各委員長から今のプロジェクトの方向性を話していただきたい。まず中村委員長からお願ひする。

【中村委員】

- ・米山薬師の会は、今ほど佐藤（ま）委員が言われたように、新しい団体がまだ漠然とした感じではっきりと言えないが、何とかできそうだということでお薬師を守る会の協議もそろそろ終わるのかとその頃は思っていた。後で考えてみたら、まだ新しい会自体がどの程度の団体なのかわからないので、今週末か来週頭くらいにその辺を確認したいと思っている。米山薬師を守る会が始まった時に、柿崎山岳会が解散後の登山道及び山頂の登山環境をどう維持していくかと、もう一つ魅力発信というものがテーマであったのを、とりあえず登山道のほうを重点にしていかないと今年度末で柿崎山岳会が解散するということなので、それを重点的に取り組んできた。それもこの団体なら大丈夫とはっきり確約が取れていない。もし取れていたとしても、いわゆる登山環境の整備だけで終わってしまう気がする。米山の魅力発信というのは、今後の柿崎の活性化に取り上げていたかと思う。それに向かって魅力発信というのも取り組んでいかなければいけない。それには、歴史、文化を調査しながら保存していくかなければいけないのかと思っている。米山薬師を守る会自体は、新しい団体が立ち上がったとしても、魅力発信でしばらくは会議を開かなければいけないと思っている。早期に解散というのは、間違っていたと思っている。米山薬師を守る会の委員には今後も協力をお願ひしたいと思っている。

【佐藤（達）委員】

- ・柿崎区の情報発信、受信するネットワークということで立ち上げて1年半活動してきたが、なかなか難しいテーマだと痛感している。我々の考えているアイデアでそのまま展開できるというような簡単なものではなくて、地域の皆さんとの理解を得ながら、どういう形で良い方向へ持っていくら良いかというのを常に考えている状況である。今後、具体的にどういう方向が良いかというところを模索している段階と認識している。先般、柿崎まちづくり振興会や柿崎観光協会とも面談させてもらったが、皆さんとの共存とどういった

形で地域に情報を発信して行くのが良いのかというのを今後メンバーと一緒に考えながら上越市の過疎地域の持続的発展計画とか地域自治推進プロジェクトと併せて方策を皆で考えて行くという段階かと考えている。

【佐藤（昌）委員】

- 最初、まちづくりとスポーツという形でスタートしたが、なかなか広いテーマで意見交換をするにしても意思が伝わらず、今現在もようやく意見交換ができる候補との自分たちの活動を紹介するツールをようやく作れたという段階で、これから意見交換をする中で具体的な方向性が決まっていくのかと思う。活動を振り返ってみると、ある程度方向性を見定めたうえで自主的審議をスタートしないと始めてみてから方向性を見失う。私も意見交換に参加させていただいて子育て世代のひつ迫している状況を聞いているが、今現在のこどもセンターは上越市議会で審議されている。全区には置けないと言われている中で、柿崎区の地域協議会として何を意見交換するかという整理は必要でないかを感じている。例えば、この意見がもとになって柿崎区に置くことになったということが、ほかの区にとってどうなのか。果たしてそれを審議して良いのかという部分も整理が必要だと感じた。

【吉井会長】

- 今、三つのプロジェクトの委員長から今後の委員会の方向性について話を聞いていただいた。まだ意見を述べていない委員、滝澤委員、意見あるか。

【滝澤委員】

- これは米山薬師を守る会を解散して、子育て関係の委員会に行くということか。

【吉井会長】

- そんなことはない。

【滝澤委員】

- 先ほど、佐藤（昌）委員も言ったが、行政でもやろうとなっているところに何を向けていくのか。中止することはできるが、その辺の方向性がある程度固まらないと何も申し上げられない。

【吉井会長】

- 金子委員、意見はないか。

【金子委員】

- ・今、滝澤委員も言ったが、まだどうなのか。今年度中の実績を見て、また、学んで対応してからでも良いのでは。

【坂木委員】

- ・私も市長がやると言っていたので、それを見てからの方が良いのではない
か。自分が所属するスポ×まちプロジェクトも中途半端であるので。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんからご意見をいただいた。今、三つの自主的審議事項が立ち上
がっている。各委員長からの報告では、まだまだ審議が尽くされていないの
で、今後も継続して行きたいとの話があった。小出委員からはこどもセンター
について行政でも立ち上がりろうとしているので、その状況を見ながら
我々も注視していければ良いのではないかという話があった。柿崎区地域協
議会としては、委員の任期4年内、自主的審議事項を三つ行っているが、各
委員が一つの自主的審議事項に加わっている。滝澤委員だけ二つ参加しても
らっているが、各委員が二つの自主的審議事項の委員会に加わるというのは
非常に厳しいと私も思っているので、各委員会がこのまま継続していくので
あれば、新しい委員会をスタートするのは難しいのではないかと私も思って
いる。今後、自主的審議事項を増やせるのかどうかという話をしたが、今
の状況ではなかなか増やせそうもない。自主的審議事項として議論するものが
あれば検討の台に乗せて皆で検討して行きたいと思うが、現状では非常に難
しいのかと思う。あと3か月経てば我々の任期がちょうど半分終わる。自主的
審議事項の方向性を残りの3か月で皆さんと議論しながら進めて行きたい。こ
れについて委員から意見はないか。

【小出委員】

- ・これから先、壁になってくるのは、地域協議会はあくまでも協議する団体で
あって実動部隊にはなりえない。そこでやろうと思ってきたことをどこかに
やっていただくのか、新たな団体を立ち上げるのか、そこが動き出したら地
域協議会としては、個人としてそこに入ることはもちろんできるが、組織と
しての関りは難しいということかと思う。そこが地域協議会という団体自体
の難しいところだと思うので、最終的に何が目指すところなのかと皆さん言

っていたが、実は私たちは動けないというところを見据えながら考えて行かなければいけないと思っている。

【吉井会長】

- ・何をするにも、やってくれるところに頑張ってもらわなければいけない。そういう団体を作っていくかないとすべてが始まらない。今日の時点で、令和8年度の地域独自の予算は上越市全体で194件だそうである。地域独自予算がスタートした時は、145件というところからスタートしている。令和7年度は、174件の見込みである。だんだん増えていると市は言っていた。何を言いたいかというと、何をするにもやってくれるところがないと何もできない。我々はそういう団体を見つけなければならない。ほかに意見はないか。

(意見なし)

- ・それでは、この件の結論であるが、現在取り組んでいる三つの自主的審議事項を継続してお願いする。この件については、これで終了する。
- ・それでは、第11回スポ×まちプロジェクトの報告を佐藤（昌）委員長にお願いする。

【佐藤（昌）委員】

(資料3により説明)

【吉井会長】

- ・ほかの団体とできた資料で話をして行くわけだが、その資料が我々に示されていない。

【佐藤（昌）委員】

- ・ほかの団体の資料を付けていなかった。提出し忘れていて申し訳なかった。
今後、付けさせていただく。

【吉井会長】

- ・このプロジェクトのメンバーは周知しているかと思うが、ほかの委員会のメンバーにも同じレベルで周知するために資料をできれば次回までに付けていただき我々に示してほしい。ほかの委員で意見あるか。

(意見なし)

- ・それでは、スポ×まちプロジェクトの報告を終了する。
- ・その他に移る。まちづくりフォーラムの報告を坂木委員にお願いする。

【坂木委員】

(第2回まちづくりフォーラム実行委員会の結果を報告)

【吉井会長】

- ・各委員長、よろしくお願ひする。
- ・次に会議の開催日程等について事務局から説明をお願いする。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。
 - (1)令和7年度第10回柿崎区地域協議会
 - (2)第3回まちづくりフォーラム実行委員会

(当日配布物について説明)

【吉井会長】

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後7時15分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。